

学校のひとコマ（図書館の取り組み）

今回は、図書室の取り組みを二点紹介します。



一点目は、新聞の朝刊の読み比べコーナーの展開です。

図書室に入ってすぐのテーブルには、6紙の朝刊が並べてあります。

司書の皆さんが、「今」、世界が動いている事柄を知ってほしい、また、その「今」についても、様々な取り上げ方や見方があることに気付いてほしいことをねらい、展開を始めました。何気なく、図書室に入室した生徒さんが、新聞の前で立ち止まり、数紙を見比べています。

その姿を見た司書の皆さんは、ガッツポーズ！アプローチを工夫することで、生徒の皆さんの学びの一助になることを実感したエピソードでした。

二点目は、新書コーナーです。

大学の推薦選抜の一つである、総合型選抜等では、様々なテーマについての課題が課されます。

総合型選抜にて扱われる傾向のある新書を中心とした書籍が選ばれて、並べられています。毎年、夏から秋にかけて、生徒たちが図書室を訪れて、司書の皆さんに、〇〇に関する本はありますか？と聞きます。普段からアンテナを張っている司書の皆さんから紹介された書籍を手にとって読む生徒さんもいます。

高校時代は、授業で取り扱われた内容で関心を持ったことを、自分なりに深掘りしたり、様々な考え方や見方があることを知ったりして、人間としての自分の生き方、考え方の基礎を作るとともに、考えに厚みを持たせる基礎を作る時間です。

中学生のみなさんは、本校に入学した際は、ぜひ図書館を利用して、自分の価値観を構築してください。本校の1・2年生の皆さんは、自分の進路に向けて、新書をはじめとした書籍を読み、考えの厚みを増やしてください。

もちろん、本校図書館では、小説なども様々な展開をして、生徒の皆さんのご利用をお待ちしています。